



大人の部
皆さん意欲的に民話の語りに
挑戦していました。

六月十八日(土)に第二十
二回語り部養成講座が開講
しました。本年度は大人の部
八名、子供の部五名と沢山
の受講生が参加しました。

語り部養成講座が
開講しました。



夕鶴の里資料館報

令和4年7月10日

第 139号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800



子供の部
子供たちは楽しみながら語
りの練習をしていました。

最終日の七月三十日(土)
の閉講式で受講生は自身
が選んだ語りを発表します。

開講式の後には受講生は早
速、テキストの中から自分が
語りたい語りの題目を選びま
した。「昨年の受講生の語り
を聞いて語ってみたいと思っ
た」「今までと違う笑いを誘
う語りに挑戦したい」など受
講生は思い思いに題目を選
んでいました。



交流会は置賜地方の各地
域に伝わる民話を地元の方
葉で味わうことができたイ
ベントになりました。

六月十九日(日)おきたま
語り部の会(伊藤進司会長)
主催の「おきたま語り部の
交流会」が夕鶴の里語り部
ホールで開催されました。
交流会は昨年度に引き続
き、入館ガイドラインに基
き、規模を縮小した会員の
約六十名の交流会として開
催いたしました。

おきたま
語り部の会
交流会

寸劇の「姥捨て山」では、殿
様の役に特別ゲストとして高
橋大吉館長の登場に会場は
大いに盛り上がりました。



今年も規模を縮小しての
開催でしたが、来年こそは沢
山のお客様をお呼びして「お
きたま語りフェスティバル」を
開催できることを祈ってい
ます。

尚、この交流会の様子はN
C Vさんにご協力いただき
収録し、八月以降に放映さ
れます。是非ご覧ください。

「高萩民話の会 ほおずき」 とのミニ交流会

六月二十四日(金)に茨城県高萩で活動されている「高萩民話の会ほおずき」と「民話会ゆうづる」とのミニ交流会がありました。

代表の会沢悦子様は夕鶴の里に何度もご来館いただいております、この度は会員九名と共にご来館され「民話会ゆうづる」七名の語りを聞いていただきました。

コロナ禍の中ではなかなか人との交流が出来ませんでしたが、久しぶりに他団体との交流があり、実りあるひとときでした。



7名それぞれが得意な民話を披露しました。

紅花栽培日記

昨年、河北町立谷地西部小学校様よりいただいた紅花は六月二十一日に蕾を付け七月七日に開花が始まりました。「半夏紅花まつり咲き」といつて本来は七月二日の半夏生に咲くのですが、五日遅く開花しました。



6月21日



7月1日



7月7日

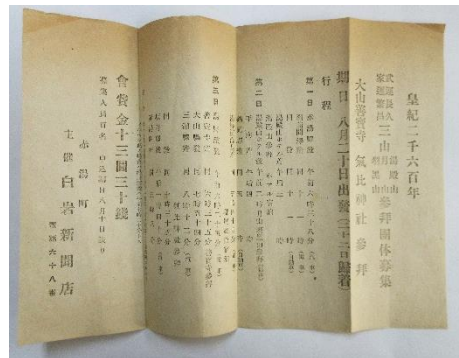
企画展 「近代山形旅行案内展」 九月三日まで開催中

汽笛一声新橋を：

今年、鉄道が開業して百五十周年の年だそうですね。鉄道の登場によって徒歩で一日がかりで移動した距離をごく短時間で移動できるようになりました。旅行時間の短縮は宿泊費などの経費が節約でき、娯楽旅行が身近な存在となりました。

昭和初期の山形県民に人気の旅行先は主に三つあり、一つは出羽三山を参拝して湯の浜温泉に一泊するコース、二つ目は最上三十三観音を四泊五日で巡るコース、三つ目は昭和十二年から戦争が始まるまでと武運長久の神様がいる気比神社へ祈願参拝して温海温泉に一泊するコースでした。山形県民にとっての旅行は農閑期を利用

して田植えが終わった頃やお蚕の合間に農作業の休養と家族の幸せを祈るものでした。



赤湯町白岩新聞店が主催した団体旅行の募集チラシ

昔のあそび

～コットンボールを作ろう～

- ◆日時 7月23日(土) 午前10時～
- ◆場所 夕鶴の里
- ◆内容 毛糸と水風船を使ってボールの飾りを作ります。
- ◆参加料 100円
- ◆定員 10名
- ◆申込・問合せ 夕鶴の里 (☎47-5800)